

堆肥

の利用による

土づくり

のすすめ

～「脱輸入依存！」 土壌診断に基づいた適切な堆肥施用により、地域資源の循環利用を進めましょう～



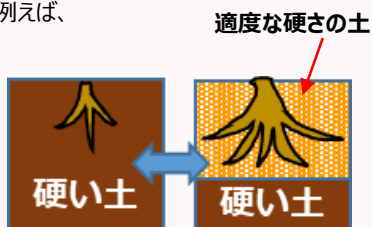
- 農地の状態を診断して、効果的に堆肥を活用しましょう。
- 様々な堆肥が販売されていますので、用途に応じて使ってみましょう。
 - ・保有する肥料散布機で散布したい。
→袋詰めペレット堆肥
 - ・お手頃な価格で購入したい。
→従来型堆肥
(バラ、フレコン入りなど)

堆肥の土づくり効果

【物理性】

根の良好な成長、通気性や排水性などの改善

例えば、

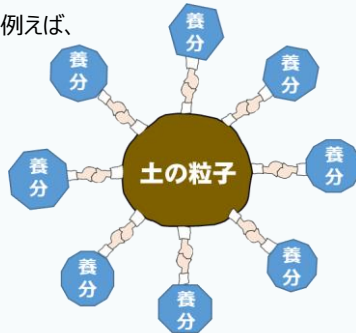


- ・土が硬いと排水性、根の伸長を阻害
- ・適度な硬さの土で根が伸長を促進、通気性や排水性も良好

【化学性】

肥料の保持力や養分の供給力などの改善

例えば、



- ・土の粒子が施肥された肥料を保持

【生物性】

微生物による土壌中の有機物の分解などの改善

例えば、



- ・多様な微生物による有機物の分解と循環

【堆肥を施用する農業者の声】

味が濃くすっきりしたトマトが獲れ、バイヤーに「美味しいトマト」と評価

good!

堆肥の価格（例）

種類	価格	1kg当たり価格	窒素1kg当たり価格	割合※
普通化成肥料（袋） (N:8.0% - P:8.0% - K:8.0%)	3,355円/20kg	167.8円/kg	2,098円	100%
牛ふん堆肥（バラ） (N:0.93% - P:1.33% - K:1.85%)	3,740円/t	3.7円/kg	398円	19%
鶏ふん堆肥（袋） (N:1.93% - P:5.60% - K:3.89%)	162円/15kg	10.8円/kg	560円	27%

※普通化成肥料（袋）の窒素1kg当たり価格を100とした場合の価格比

九州農政局調べ（令和4年9月）

家畜ふん堆肥利用上の留意点（確認事項）

未熟堆肥など、品質が劣る堆肥を利用すると、農作物への生育障害や雑草害を引き起こすなどの問題が生じます。堆肥を利用する前には、以下について確認をした上で、積極的に堆肥を利用しましょう。

- 堆肥の成分含有量を確認し、適正な施用量・施用方法で使用しているか。
- 褐色～黒褐色で、家畜ふんの臭いや形がほぼなく、適当な水分量（手触りがさらさら）であるか。
- 製造時、水分を調整し、切り返し等により十分に発酵されているか。
- 製造時に70℃以上で数日間の雑草種子死滅の対策がとられているか。
- 原材料に関する情報を確認しているか。（家畜の種類、輸入飼料を給与しているかどうか等）
- 輸入飼料を給与した家畜由来の堆肥の場合、作物によっては除草剤（クロピラリド）の残留による生育障害の恐れがあるため、障害の有無を確認しているか。（詳細は下段「クロピラリドについて」を参照）

産地生産基盤パワーアップ事業

◆支援の内容

地力の向上を目的として、堆肥の実証的な活用による土づくりの取組を支援
原則、**堆肥を施用していないほ場**（地力改善のため堆肥の追加的施用が有効と認められるほ場を含む）**を対象に2年を上限に支援**

◆対象となる堆肥

○牛ふん堆肥、鶏ふん堆肥等（ペレット堆肥や混合肥料を含む）

◆補助対象となる取組

○堆肥の購入、運搬、保管に係る経費
○散布に要する経費（散布機械のリース・レンタルを含む）
○土壌及び作物体の分析 等

◆補助率

定額（上限3万円/10a（ペレット堆肥の場合は3万5千円/10a））

注1 堆肥散布機械のリースに要する費用の補助率は、1/2以内となります。

注2 最大2年間取組可能ですが、2年間で上限額の範囲内での支援となります。

詳細検索（農水省HP） http://www.maff.go.jp/j/seisan/suisin/tuyoi_nougyou/sanchipu.html



クロピラリドについて

海外で使用された農薬の成分（クロピラリド）が含まれた輸入飼料が家畜に給与された場合、**堆肥を通じて、トマト等のナス科、スイートピー等のマメ科、ガーベラ等のキク科の農作物に生育障害を起こす可能性**があります。

詳細検索（農水省HP） <https://www.maff.go.jp/j/seisan/kankyo/clopyralid/clopyralid.html>



事業についてご相談のある方は、お近くの市町村、各県の土づくり担当部局、九州農政局各県拠点、九州農政局生産技術環境課までご連絡ください。

九州農政局連絡先：生産技術環境課
有機農業推進係
096-211-9111（内線4534）